

令和5年度 飯田市議会タウンミーティング 企画

06/26 時点

1 期日・会場

- 7月14日(金)
- 開催時間:18:00~19:10
 - ※高校生の下校後~帰りのバス電車に間に合うまで
- むとすぷらざ(飯田市公民館) 2Fフリースペース

2 参加範囲

- ・高校生側:10人~20人程度
- ・議会側 :広報広聴委員+正副議長

3 タイムテーブル概要

時間	内容
17:20	議会側事前打合せ、会場準備、受付
18:00	開会行事。タウンミーティングの説明
18:05	自己紹介 高校生→議会 ※4-1-3
18:15	グループ討議(2~3グループに分かれて) ※4-3
19:00	閉会行事(議会、高校生側から感想)
19:10	高校生退出、議会側は会場片付け

4 議会側が留意するポイント

- (1) 高校生がリラックスして臨める雰囲気をつくれるよう努める。
 - ・ポロシャツ着用(南アルプス、リニア、人形劇フェスタなど)、木札プレート。
 - ・議員同士で交わす際の敬称は「〇〇議員」よりも「〇〇さん」に。
 - ・アイスブレイク(自己紹介)では高校生当時に行っていた活動・今の趣味を語る。
 - ※所要時間を考慮し、1人1分以内に
 - ・ほか、かしこまった雰囲気にならないよう意識する。(特に序盤)
- (2) 開会行事とグループ討議
 - ・高校生がホームグラウンドと感じやすいフリースペースを利用する(ふらっと会議の助言による)。このため一般の傍聴も可能な状態となる。なお議員の私物等を置いておく会議室は別途確保する。
 - ・開会行事は議会、高校生を車座(一重)で配置。
 - ・高校生がリラックスできる雰囲気づくりに努め(ふらっと会議主宰の桑原利彦さんに協力

- してもらい)、自己紹介の時間を主体にする。
- ・グループ討議は2グループを想定するが、高校生の参加規模によっては3グループにすることもある(具体的な見通しは開催数日前になる)。このため議会側は2グループと3グループ、両方の場合の編成を考えておく。
 - ・グループ討議は高校生の間に議員が入る配置。高校生に一巡発言してもらった後、議員が感想・助言を語る。ファシリテーターを務める議員が深掘り・集約したいポイントを明示する。
 - ・高校生側から多様な発言が出る中では集約に至らない内容(個別の内容)もあるだろうが、「新しい気づき」を含むことも留意して拝聴する。
- (3) 意見交換テーマ「飯田市の自慢したいこと、自慢できないこと」について
- ・高校生が発言しやすい切り口として設定。(ふらっと会議からの助言)
自慢したいこと → シティプロモーション、シビックプライドへの関連付けが想定
自慢できないこと(課題に感じていること)
→ 交通の便など、政策課題への関連付けが想定
- (4) その他
- ・高校生の帰宅時間(公共交通の運行時間)を配慮して19時10分終了とする。ただし、終了後も話し合いたい雰囲気があれば認める。その際、記録は可能な限り残す。
※記録内容はそのまま議会や市への提出資料となるため、簡潔明瞭に記載する
 - ・当該フリースペースのホワイトボードに、高校生向けの開催告知を出しておく。
 - ・「飯田市の自慢したいこと」をポストイットに記入し、貼り出せるようにする。学習利用している高校生が、タウンミーティングに参加しなくても間接的に関わられるようにする(ふらっと会議からの助言)。
 - ・若者WG(飯田市出身の学生)も高校生の一員として参加できるようにする。
 - ・事前のプレスリリース、議会側の記録担当、開催後のレポート(当該フリースペースのホワイトボードを利用)も留意する。

5 その他

- ・松本工業高校などにおける「高校生の陳情、行政側の制度化」を桑原さんに話題提供してある。